

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------------------|----|------------|
| ○事業所名 | 社会福祉法人ききょう会 こどもステーション三和 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年2月1日 | | 2026年2月28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 21 | (回答者数) 18 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年2月1日 | | 2026年2月28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年3月31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 成人施設内にあり、中庭に遊具設置をしています。小湊線沿いのため鉄道を見たり、散策したり自然豊かな環境でのびのびと活動することができます。 | 体を動かした活動を多く取り入れ、体力作りや気分転換をおこない情緒の安定に繋がるようにしています。 活動内容に合わせて室内外を使い分け、一人ひとりの特性に合わせた対応ができるようにしています。 | 活動内容に合わせて室内外を使い分け子ども達の発達を促していきます。環境をいかし、イベント開催などを行ない色々な経験が積めるよう検討していきます。 |
| 2 | 毎月1か月の活動内容を子ども、保護者に提示しています。併せて年間行事を計画的に実施しています。 | 活動の中に選択できる場面を取り入れ、自己決定や意思尊重に繋がるよう支援しています。 外出することで公共施設のマナーや交通安全ルールを学べる機会をつくっています。 | 職員間で情報共有しながら内容の充実を図っていきます。近隣の公共施設利用を増やし、地域交流を広げていきます。 |
| 3 | 避難訓練、不審者対応など災害対策を定期的実施しています。 | 毎月、曜日を変えて避難訓練することで全利用児が参加できるようにしています。不審者対応や消火訓練、起震車体験等を併設している成人施設と合同で実施するほか、活動の中で紙芝居やクイズで防災についての意識を高められるようにしています。 | 日頃から見直しを図り、情報共有しながら取り組んでいきます。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 保護者向け、家族が参加できる研修の機会や情報提供がおこなえていません。 | 保護者参加の行事を実施していますが、保護者の参加が限られているため参加しやすい日時や内容設定の見直しが必要だと考えます。 | 保護者のみを対象とした茶話会や研修、講習会などを企画、検討中です。 |
| 2 | 地域の子供達と交流する機会が少ないです。 | 隣接するコミュニティセンターや公園、イベント参加等で地域に出る活動は多いですが、交流する場を設定しての活動とありません。 | 交流する目的、内容を明確化し定期的に活動内容に組み込めるようにしていきます。 近隣の関係機関と交流できるように検討していきます。 |
| 3 | 女性職員のためのため、異性介助となっています。中高生男児への支援範囲が内容によって限られることがあります。 | 外出先によって一緒にトイレに入れない場合があることや、問題行動の強いお子さんへの対応が難しい場合があります。法人内で男性職員にヘルプ依頼を調整する場合がありますが都度の確保は難しい現状です。 | 外出対応などは早めのスケジュール調整をおこない、法人内で事前に人員確保できるよう協力体制を整えていきます。 |